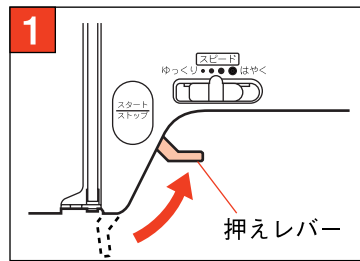
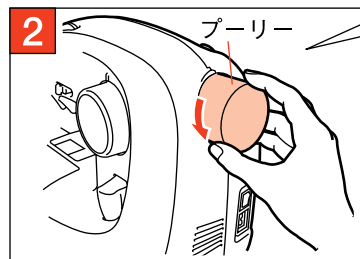


上糸のかけ方 → P14~15

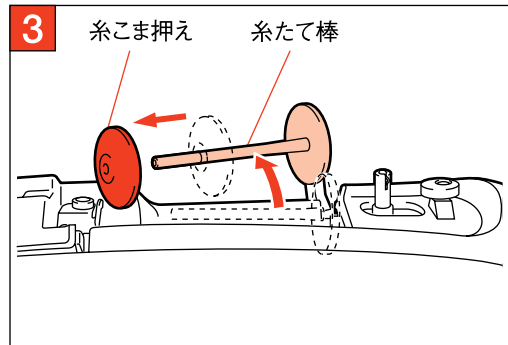
糸立て棒は必ず**後側に出した状態**で上糸をかけ、使用してください。



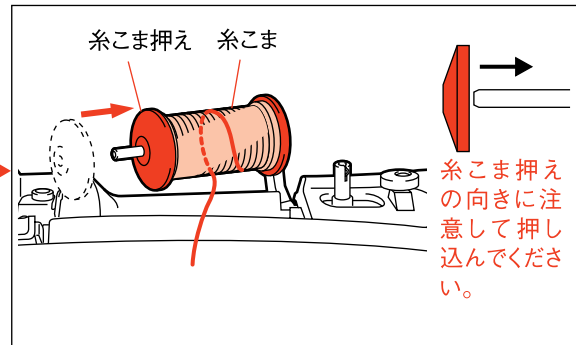
押えレバーを上げてください。



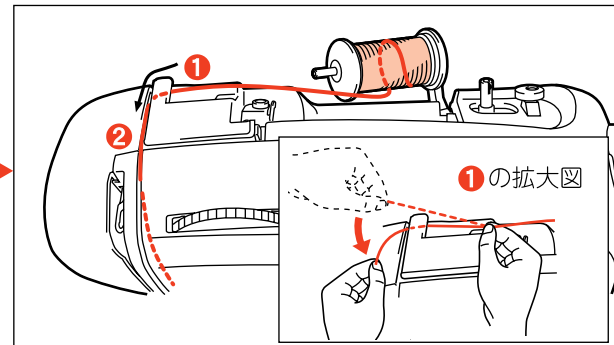
プーリーを手前に回して、天びんをいっぱいまで上に上げ、針を上へ上げてください。
プーリーの“しるし”を真上の位置にしたときが糸かけができる位置の目安になります。



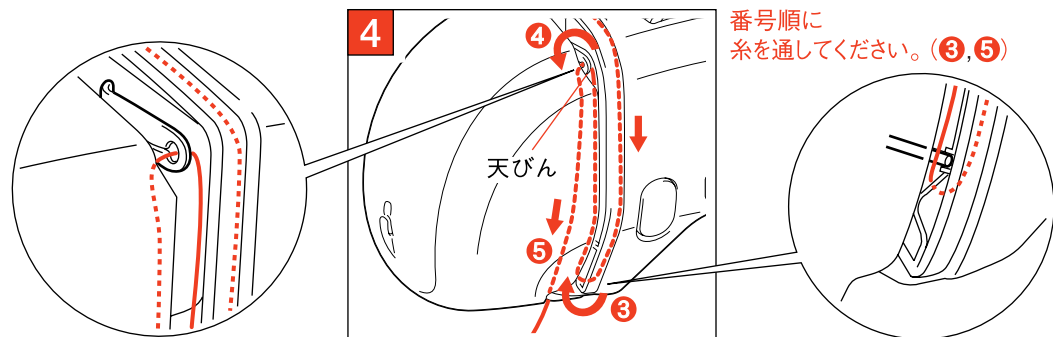
糸たて棒を後方に倒し糸こま押えを外してください。



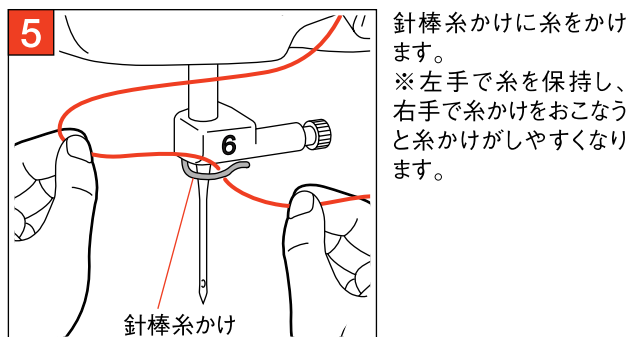
糸こまを糸が下から手前にくるように糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までいっぱい押し込んでください。



ミゾにそってマシン本体に表示されている番号順に糸を通してください。(1,2)

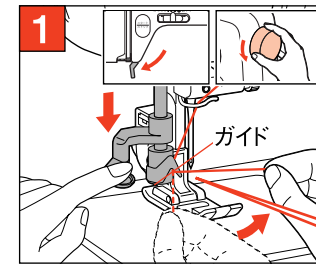


天びんに糸をかけます。天びんの右側から後ろに回し、左手前に糸を運びます。(4)

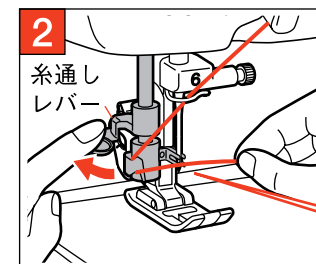


針棒糸かけに糸をかけます。
※左手で糸を保持し、右手で糸かけをおこなうと糸かけがしやすくなります。

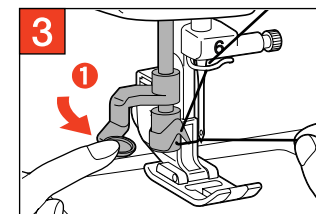
糸通し装置の使い方 → P16



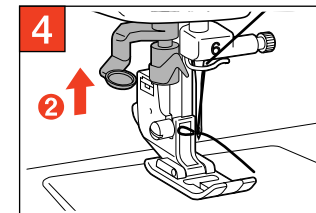
プーリーを回して針をもっとも高い位置に上げ、押えレバーを下げてください。
上糸をガイドにかけて糸通しレバーを止まるまで下げてください。(糸は右側に持っていきます)



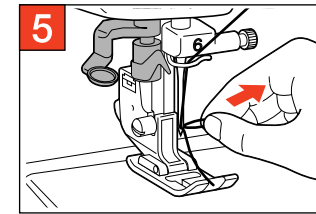
糸通しレバーを後ろへ回して針穴にフックを入れ、糸を下からすくうようにしてフックにかけてください。糸を手前に引き、フックにかかっているか確認します。



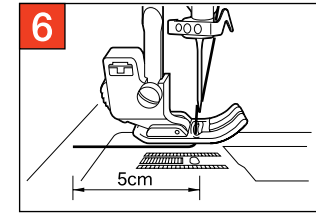
糸を軽く持ったまま、糸通しレバーを手前(1)に戻した後、糸と糸通しレバーからゆっくりと手を離してください。(2)



フックが糸を針穴に通します。



ループ状になった糸を後ろ側へ引っ張り、針穴から糸を引き出します。



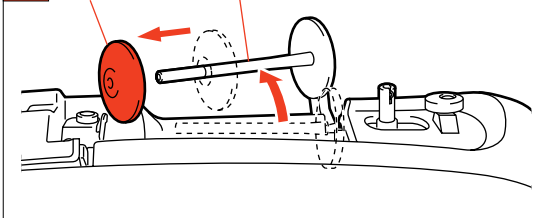
糸は押えの下を通してミシンの後ろ側に5cmほど引き出して置いてください。

ボビンの下糸巻き → P10~12

糸立て棒は必ず**後側に出した状態**で下糸巻きをしてください。

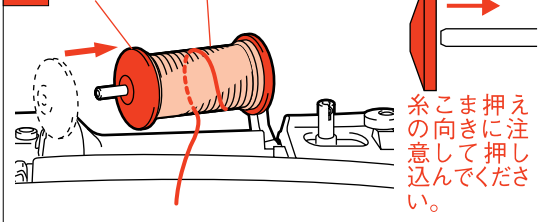
1 電源スイッチを入れてください。

2 糸こま押え 糸たて棒



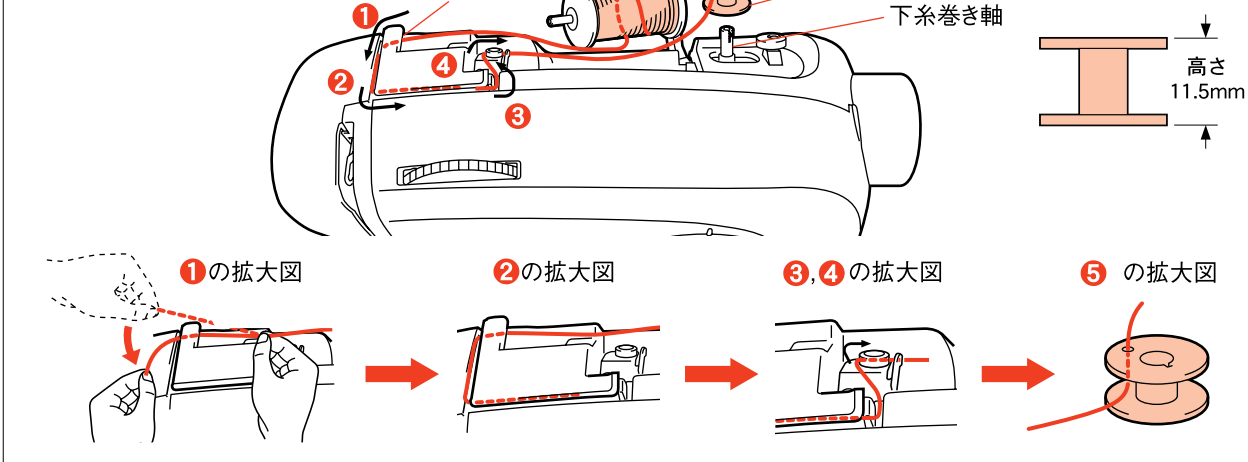
糸たて棒を**後側に出し**糸こま押えを外してください。

3 糸こま押え 糸こま



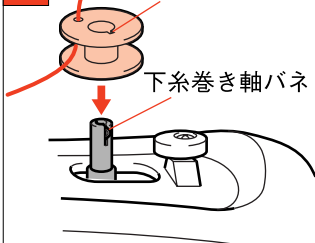
糸こまを糸が下から手前になるように糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までいっぱい押し込んでください。

4 ミシン上部



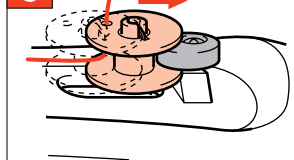
①～⑤の順番に従い、糸を通してください。

5 ボビンのミズ 下糸巻き軸バネ



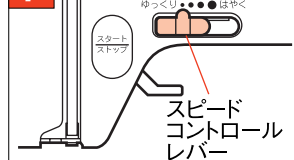
ボビンのミズと下糸巻き軸バネの位置を合わせて軸の根元まで押し込んでください。

6



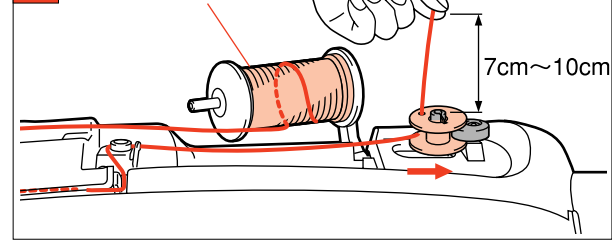
ボビンを右(→方向)にカチッと音がするまで押し込んでください。

7



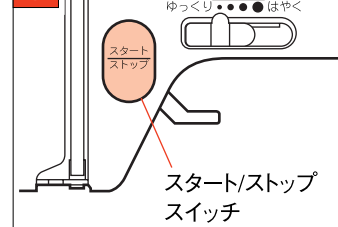
スピードコントロールレバーをゆっくり(←方向)にスライドさせてください。

8



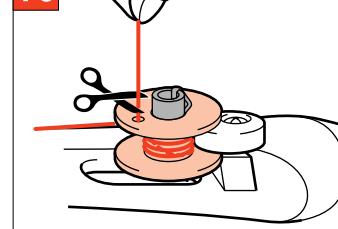
糸端を持ってスタート/ストップスイッチを押し、ボビンを数回転(10回程度)させてください。

9



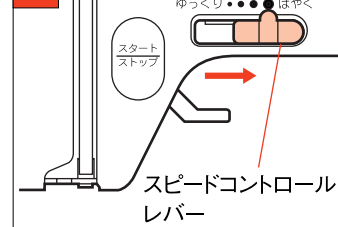
スタート/ストップスイッチを押してミシンを止めてください。

10



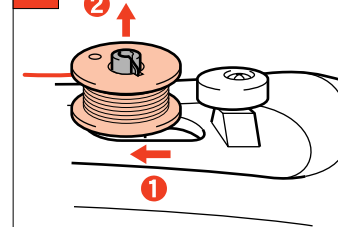
糸端をハサミで切ってください。

11



スピードコントロールレバーをスライドさせて、下糸巻きのスピードを決めてください。再びスタート/ストップスイッチを押してください。下糸巻が終了したら自動的にボビンの回転は止まります。スタート/ストップスイッチを押してミシンを止めてください。

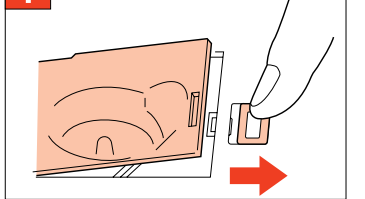
12



下糸巻き軸を左側に戻し(1)ボビンを取り外してください。(2)スピードコントロールレバーを「ゆっくり」の方に戻してください。

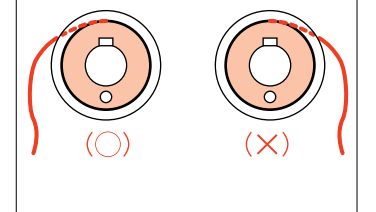
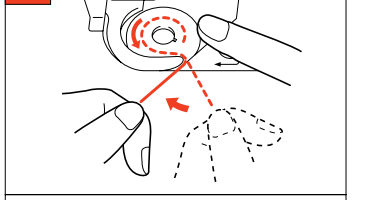
下糸のセット → P13

1



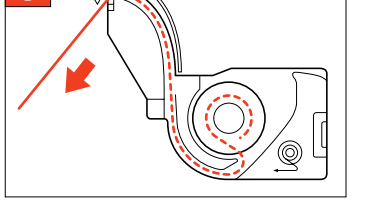
針板ふたの横のつまみを右に(→方向)押し、針板ふたを外してください。

2



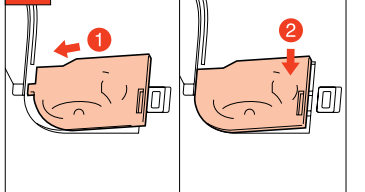
矢印の方向から糸が出るように下糸を巻いたボビンをセットします。

3



左手で糸端を持ち、少し糸を引きながらミゾにそって糸を通し、終わりの部分で手前に引いてください。カッターで糸が切れれます。

4



針板ふたを閉めます。針板ふたの左側の凸部を(1)の矢印のようにセットしてから、(2)の部分を上からカチッと音がするまで押します。下糸を引き上げなくてもそのままぬうことができます。